温泉資源を有効活用した脱炭素地域づくりについて

湯野浜100年株式会社 阿部公和

## 湯野浜温泉

#### 山形県鶴岡市湯野浜地区



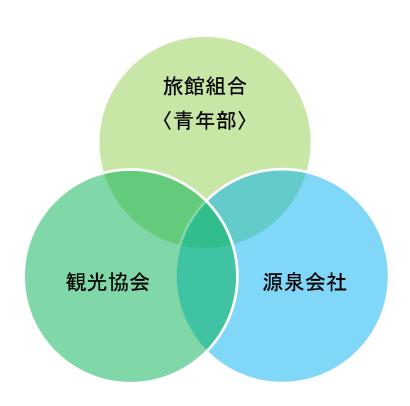


奥州三楽郷 歴史ある温泉街

☆湯量豊富な温泉☆日本海の美しい海☆綺麗な白浜を擁した海水浴場

# 15年前

# 湯野浜の組織



## まとまりのない地域

旅行業が中心の観光キャンペーン

旅館形態の同質化

たとえば

湯野浜は?

# 発想の転換

同一方向を目指す→足元を見つめる

地域とは?

湯野浜とは?

## 若者の不満

若い世代が増える→やる気→現状批判

自己反省→覚悟=本気のやる気



100年前も、今も、100年先も変わらない湯野浜の価値

本質

海と白浜と温泉

湯野浜100年株式会社=旅館組合青年部 YD部 YFD部 YC部

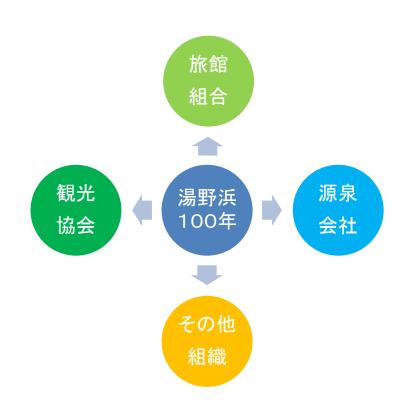
考えるく行動

理念の重要性

事業

温泉入浴教室 湯野浜アイス 散策路整備

# 湯野浜の裏組織構造



# 7年前

## 事業拡大

湯野浜100年株式会社の主体 旅館組合青年部→観光協会

新生 湯野浜温泉観光協会

## 観光協会+日本財団との取り組み



## 温泉資源を有効活用した 脱炭素地域づくりいて

# 温泉の課題

### 湯野浜温泉

#### 温泉集中管理・配湯

1996年に地域内源泉を統廃合、集中温泉配管を通じて旅館民宿19軒、 保養福祉施設3軒、公衆浴場2軒、一般住宅20数軒へ温泉集中配湯事業を開始



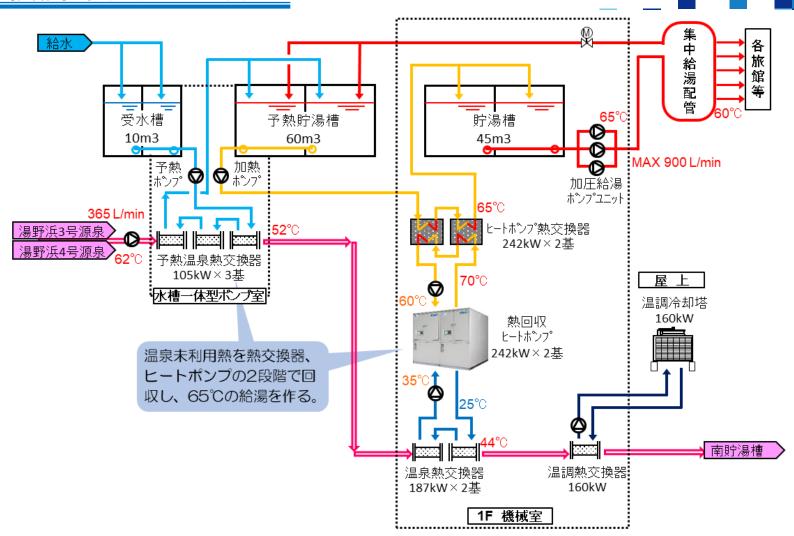
- ★ 利害調整等に苦慮し、事業開始は山形県下の温泉地で一番最後・・・・
- ★ 湯野浜温泉源泉(有)が温泉販売を行い事業運営

## 2014年度

環境省の大規模CO<sub>2</sub>削減ポテンシャル調査・対策提案事業の対象地域に選定され、温泉を活用したCO<sub>2</sub>削減の可能性、省エネ対策の検討を実施

## CO<sub>2</sub>大幅削減事業

### 集中給湯事業(共同インフラ)



## CO2大幅削減事業

### 集中給湯事業(共同インフラ)

集中給湯設備で作った給湯を、

地域内に埋設した約3.5kmの集中給湯配管を通じて12施設に供給している。

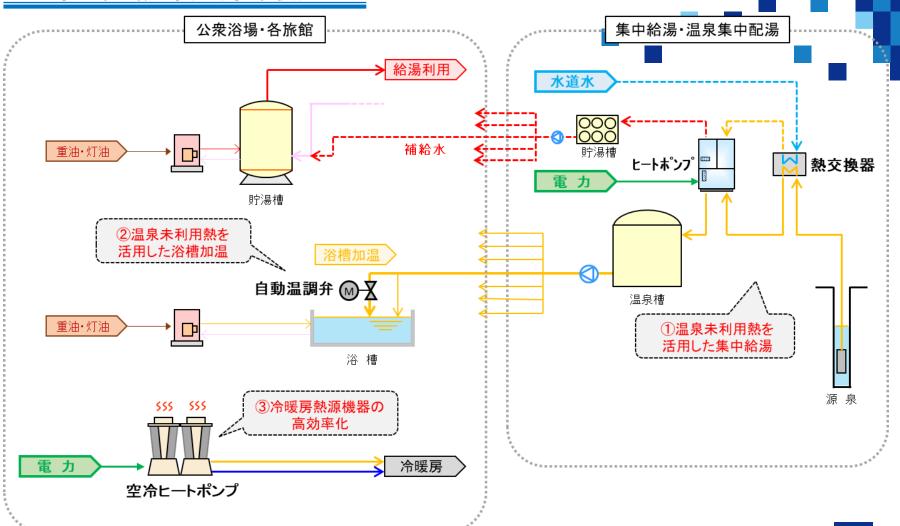


### CO<sub>2</sub>大幅削減事業 (事業前) 要 公衆浴場·各旅館 温泉集中配湯 給湯利用 重油 · 灯油 ボイラ加熱して給湯利用 給湯ボイラ 貯湯槽 水道水 補給水 温泉槽 浴槽加温 重油·灯油 \_\_\_\_\_ 加温ボイラ \$\$\$ 浴槽 油燃料の老朽化熱源 冷却塔 重油 · 灯油 冷暖房

冷温水機

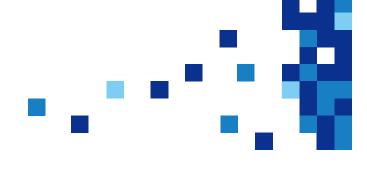
## CO<sub>2</sub>大幅削減事業

### 事 業 概 要 (事業後)



## CO。大幅削減事業

#### 実施までの経緯



#### 2014年度

環境省の大規模CO<sub>2</sub>削減ポテンシャル調査・対策提案事業の対象地域 に選定され、温泉を活用したCO<sub>2</sub>削減の可能性、省エネ対策の検討を実施

- ・中小規模施設を含めた温泉街全体で
  - 集中給湯事業を実施することで、大きな省工ネ効果が得られる。
- ・インフラ整備には大きな資金が必要となるため、公的支援が必要。

#### 2015年度

湯野浜温泉源泉(有)と三機工業(株)とコンサル会社の3社で、事業計画の策定

#### 2016年度

環境省の補助金、山形県・鶴岡市の出資等の財政支援を得て、事業実施へ

## CO。大幅削減事業

#### 事業概要

参加事業者: 代表事業者)湯野浜源泉設備保有(株)

共同事業者) 鶴岡市、温泉旅館・民宿11軒

総事業費 : 約11.5億円(税込)

共同インフラ事業) 8.64億円(税込)

個別対策) 2.86億円(税込)

設計・施工: 三機工業(株)

事業期間 : 2016年9月~2017年2月( 工事期間 )

国庫補助 : 平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

自治体補助: 平成28年度鶴岡市温泉街未利用熱活用事業補助金

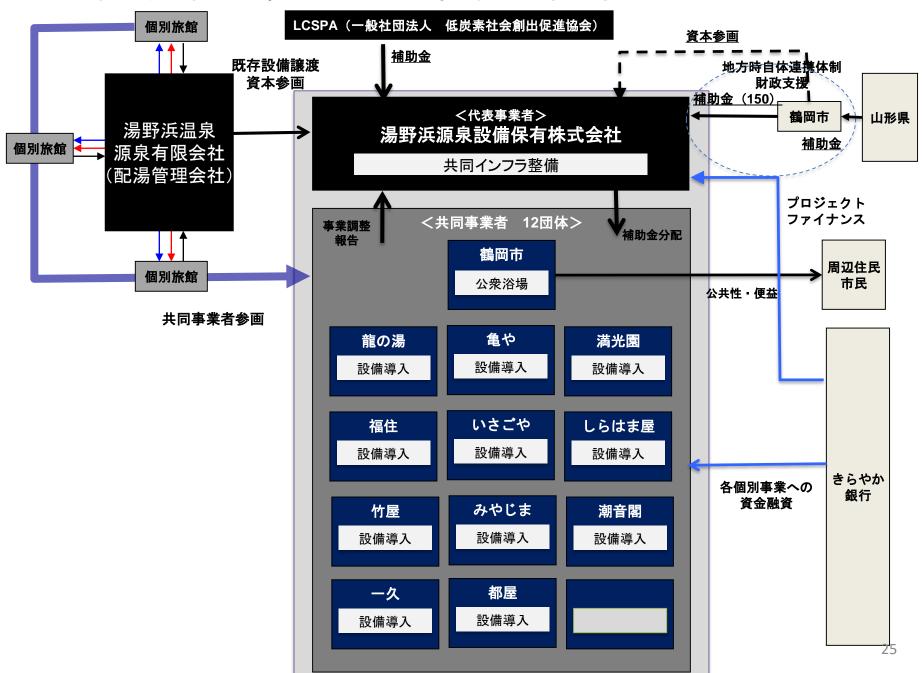
(平成28年度山形県エリア供給システム構築支援事業費補助金)

事業内容 : 集中給湯施設の新設(共同インフラ)

集中給湯配管の敷設、集中温泉配管の増強(共同インフラ)

各施設エネルギー設備の見直し等(個別対策)

## 源泉有限会社+環境省・山形県・鶴岡市 事業スキーム

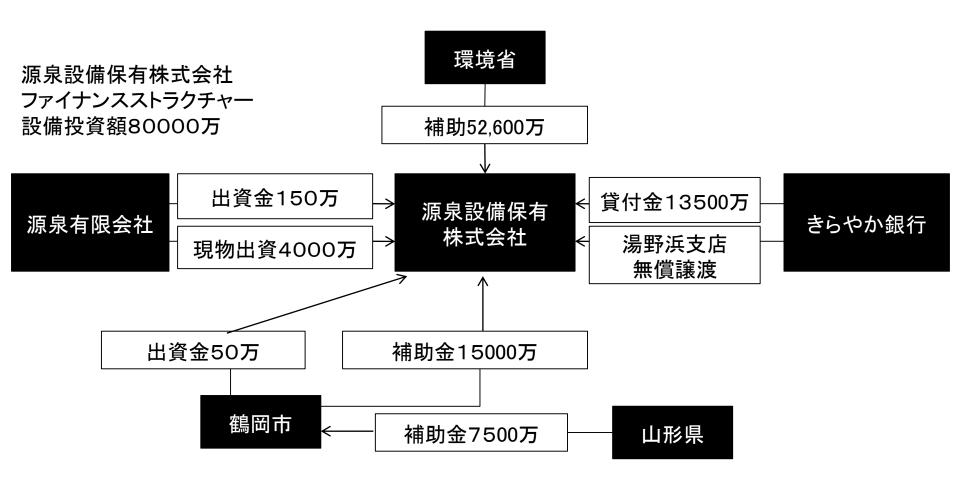


### 源泉有限会社+環境省・山形県・鶴岡市 ファイナンススキーム

事業名

平成28年度

省CO2型社会の構築に向けた社会ストック対策支援事業のうち地域の未利用資源等を活用した社会システムイノベーション推進事業



#### 旅館組合+経済産業省・環境省・鶴岡市

#### 地域課題

#### 地域コミュニティーのマイナス要因

- ·人口減少·少子高齢化
- 高齢化率40%
- •買物難民

#### 地域産業のマイナス要因

- 旅館の集客力低下
- ・旅館の人材不足

- × マイナス+マイナス=2マイナス
- O マイナス×マイナス=プラス

LL

地域高齢者の旅館への就労 福利厚生の充実

- ①物販→社販
- ②食事→社員食堂
- ③運動→プログラム作成
- ④温泉入浴→入浴法の確立
- ⑤健康管理→ヒューマノーム解析



湯の浜100年計画 + リカバリー



温泉地としての魅力向上

- ②→ローカルレストラン
- ③→アクティビティ
- ④→リラクゼーション
- ⑤→ヘルスケアー
- ⑥ プロモーション

#### 地域高齢者の旅館への就労

#### 福利厚生の充実

- ①物販→社販 旅館ストックを販売 湯野浜100年株式会社⇒各施設対応
- ②食事→社員食堂 地域食材の活用 基礎調理技術の習得 湯野浜100年株式会社+東京會舘⇒下期具体化
- ③運動→プログラム作成 いきいき体操のブラッシュアップ等 湯野浜100年株式会社+KKHK⇒下期具体化
- ④温泉入浴→入浴法の確立 国民温泉保養地の認定→新湯治プロジェクトと連携 温泉の効能検証 基礎体温を一℃上昇させるには? 湯野浜100年株式会社+前田真治+メタジェン+環境省⇒一部具体化
- ⑤健康管理→ヒューマノーム解析 旅館就労高齢者の健康状態 湯野浜100年株式会社+メタジェン⇒下期具体化

リカバリーコンセプト→別紙参照 湯野浜100年株式会社+KKHK

温泉地としての魅力向上

⑥プロモーション→M&B 湯野浜100年株式会社+鶴岡商工会議所+鶴岡市観光連盟⇒実行中

#### く気づき>

湯野浜のおじい、おばあとのディ スカッションの中で気づいたこと。

本モデル構築に当たっては、その 構図を「旅館」中心に描くとうま くいかないだろうということ。

あくまで、彼ら、彼女ら湯野浜在 の元気な高齢者たち、「人」を曼 荼羅図の中心に据えること。

#### く湯野浜モデルについて>

「地方創生」政策の懸念材料は、他人事感と紋切りタイプ化にあり、地域という概念や、地方自治体が主語になっていること。

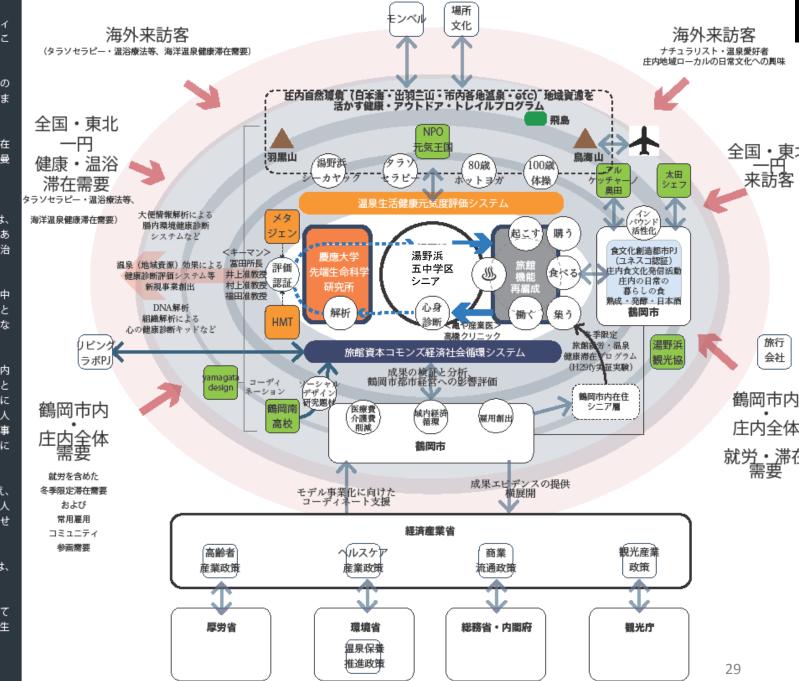
本来一番大事な「人の幸せ」を中心に据えないと、健康だ雇用だと述べたところでまやかしにしかならない。

羽黒山の懐に抱かれた濃密な庄内 の自然・文化の中の温泉であると いう基礎条件に鑑みれば、健康に 暮らすということは、現代日本人 が失いつつある「人としての大事 な肌感覚・感性の取り戻しなしに は語れない。

湯野浜の「人」を中心座軸に据え、 忘れてしまっている「人と人」、「人 と自然」との関わり方を再構築せ ねばなるまい。

健康で安全で持続する暮らしは、 そのなかにある。

人は人との関係により生かされて おり、自然との関係の中でしか生 きられないのだ。



#### 旅行販売会社任せのセールス型観光から、地域が関係会社を活用するツーリズムへ 目標をたてる 現在 過去 今を知る 過去を知る 目標設定・数値化を 現状の数値把握・価値の把握 過去からの変化の理解 見える化することで1本の矢に のため ・不変価値の理解のため - 事業目的 個人とのコミュニケーション時代(ITによ 団体セールス時代(旅行は旅行会社) ·事業目標(KPI·計測方法) り自由にコミュニケーション=情報や予 Action が素材を紡いで販売していた時代) - 具体的な事業内容 約までが可能な時代)顧客意志が強く反 顧客意志より販売会社の意思が強 事業スケジュール 映される ・推進体制(人的資源の配置) マーケティング - 市場開拓 自分から自分のイメージを相手に伝える努力 仮説をたてた市場に聞いてみる 市場を知る 仮説を立てる 実際当地にきている人のアンケートや動態調査 来訪者の把握をし、性別、年齢別、エリア別 想定するターゲットに絞り、アンケートやモ 目 で来ている人を知る で嗜好や行動に差があるかを分析 ニターツアーなど行い感触を確かめる調査。 的 の 来訪者調查、GPS動態調查 WEB調査(イメージや具体的商品に対する 地域の方と専門家による分析に対するディ 手 ょ スカッション 調査)、モニターツアー 段 う に 定量調査(定性的要素含む) 3C分析+ CO Operator(協力者) モニタリングの結果をもって個別の事業計 性・年齢別 エリア別→量的把握 自社:強みの洗い出し 画を作成し、DOへ移す 嗜好・ライフスタイル行動特徴⇒質的把握 ·事業目標(KPI·計測方法) 競合(ベンチマーク)(強み、顧客属性)顧客: 具体的な事業内容 既存顧客(ニーズ、不平、不満、不安の洗い マーケ 事業スケジュール 出し) ティング かな?? • 推進体制(人的資源の配置 へ~こんな人 が来てるんだ 年代、地域別で違 販売体制など) 連 連 ブランディング -存在意義 相手に自分のイメージを持ってもらう努力 携 資源を知る 資源を選択する 資源を演出する ブラン ディング 当地の資源、歴史、歳時記、施設、季節別魅力、 来訪者の特性にマッチしそうな資源を選択す 来訪者の特性にマッチしそうな演出(デザイ る。地域合意のもと資源の選択を実施する。 イベント、人材。見えるもの見えないものの棚卸 ンやキャッチコピーなど)をほどこして市場 目 にリリースする 的 W 地域関係者で合意する 地域関係者による四季の素材の洗い出しシート 地域資源整理を四季で整理する。専門家(編 な の作成 地域のほこり 集者)に依頼 専門家による地域資源の整理 ŧ の そ ほか)パンフなど表向きに作成しているものの ほか)写真素材の有無を確認し顧客が求め ほか)地域で統一感を持たせるためには、 る素材があるか確認、たいてい顧客と価値ズ ポスターなどわかりやすい広告物の薬を会 振り返りも行い、外に発信している内容を振り返 レで新規撮影が必要になる 議で選択させる

# そして 2018

#### 会社設立に向けて

- 湯野浜100年計画に基づく湯野浜温泉地区の 持続的発展が可能なコミュニティーの形成
- 湯野浜100年計画に基づく湯野浜温泉来訪者の増加
- 湯野浜温泉各組織が連携して進める総合戦略の立案と運用管理

## Local Management Company

## 湯野浜100年株式会社

# 資本

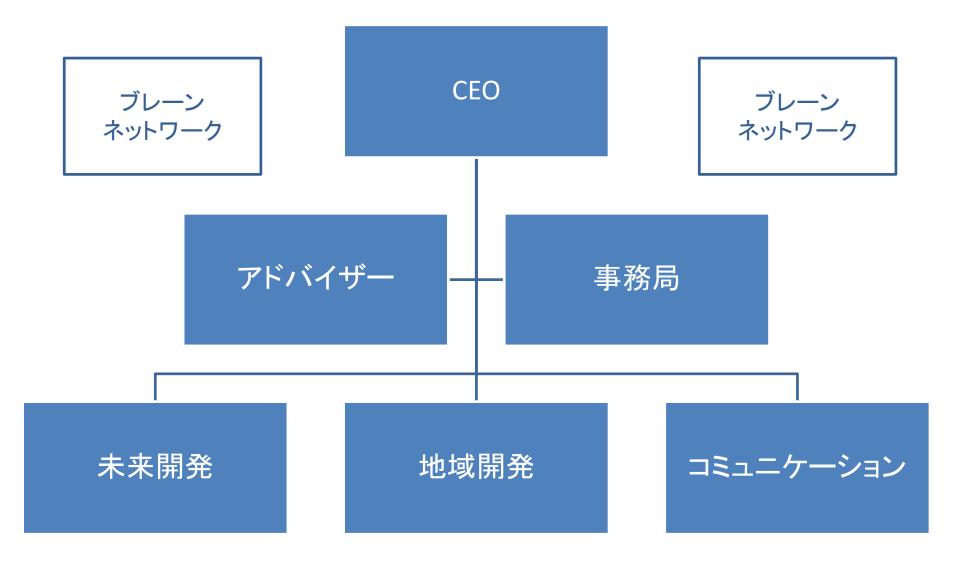
湯野浜温泉 源泉有限会社

湯野浜温泉 旅館組合 湯野浜温泉 観光協会

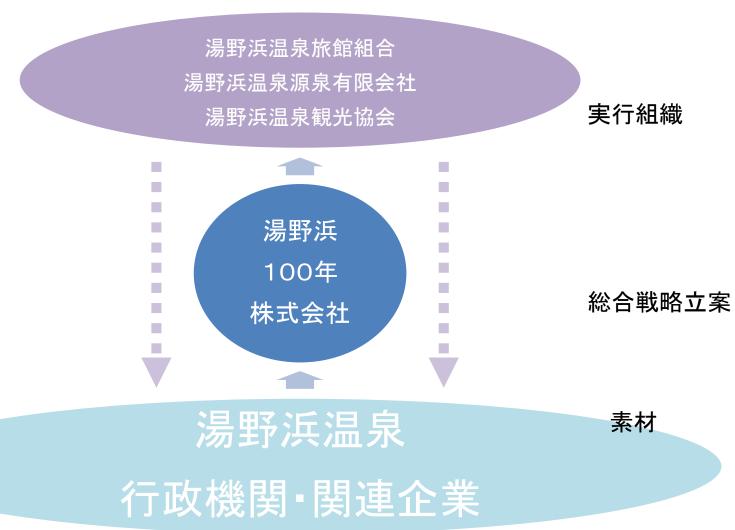
湯野浜 100年 株式会社

各組織30万円の出資 観光協会は法人格が無い為預託金

# 組織



# 地域内業務分担



# 新•湯治

# 国民保養温泉地地の認定

日本の名湯百選の認定

## 湯野浜源泉設備保有会社 CO2 23%削減により

経済産業省

2018年度 省エネ大賞

資源エネルギー長官賞 受賞

100年前も、今も、100年先も 変わらない湯野浜の価値

# 海と白浜と温泉

# 地域循環共生圏

## ご清聴ありがとうございました。